

第8回笠岡市総合計画審議会議事要点録

- 日 時：平成29年10月13日（金）14：00～15：00
- 場 所：分庁第4 2階大会議室
- 出席委員：17名
小林会長，大嶋副会長，浅野委員，遠藤委員，大山委員，藏本委員，齋藤（永）委員，齋藤（一）委員，谷川委員，玉置委員，鳴本委員，西村委員，長谷川委員，原田委員，東山委員，水野委員，三谷委員
- 欠席委員：1名 野本委員，
- 内 容：下記のとおり

1 議 事

■協議事項（1）第7次笠岡市総合計画案について

パブリックコメントによる意見を受けて修正した計画案について，資料に基づき事務局から説明した後に質疑応答。

<委員意見の要旨>

●総論・基本構想

委員：経営戦略“稼ぐ”の名称について，自主財源を持つことは重要であるが，行政の表現としては適切ではないという考えもある。“潤う”としてはどうか。

委員：積極的に進むのなら“稼ぐ”でよいのではないか。

政策部長：“潤う”は結果であり，“稼ぐ”は能動的であるため，“稼ぐ”としたい。

●第4章

委員：医業収支比率等の修正について，新改革プランとの整合を図ったということだが，その経緯の説明をいただきたい。

市民病院管理局長：いただいたご意見の実現は現在の医療を取り巻く環境の中では困難であるとの見解を，医師会の代表や病院を運営されている委員の方から頂戴した。今年度4～8月の収支状況をご報告し，委員会には新改革プランの内容で了解いただいております，こういう内容となっている。

●第5章

委員：SNSについてはコストもかからないことであり，今の時代，指標として積極的に採用すべきではないか。

政策部長：ご説明したように，数値は把握しているが，例えばフェイスブックについて

は全国的に利用者が減ってきており、インスタグラム等の新しい様々な手段が増加しているため、指標としては採用せず、実施計画に記載していきたい。

●全体

政策部長：計画の愛称・キャッチフレーズを考えてもいいのではないかという意見をいただいたが、事務局で決めることはできないため、委員さんのご意見をいただきたい。現在の計画では、将来の都市像を表紙や基本構想にも書いているので、愛称を「かがやきプラン」とすると、「元気・快適・ときめき 進化するまち笠岡」の部分が若干変わってくる。「元気・快適・ときめき 進化するまち笠岡」が愛称としていかがかと考える。

委員：せっかく「元気・快適・ときめき 進化するまち笠岡」という言葉があるから、それでいいのでは。

会長：指標については今後8年間見直しをしないのか。

政策部長：状況が変われば新しい指標が有効になることもあるし、逆に達成してしまえば追う必要もなくなるので、後期計画を作る段階で見直したい。

2 その他

1 1月9日（木）に会長・副会長より市長に答申をいただく予定

最後に、大嶋副会長から閉会のあいさつ